

福島原発事故は依然深刻な状況だった！



どこまでもどこまでも続く「放射性廃棄物」の山

十一月二三日、三四日に、福島県浜通り地区の相馬市、南相馬市、浪江町、富岡町などを訪問し、仮設住宅で避難生活を送っている方に、ちひろカレンダーを届けたり、原発事故の現状を見学したり、現地の方の話を聞いたりしてきました。

ちひろカレンダーだいすき！

ちひろカレンダー どこでも喜んでくれました

今回、ちひろカレンダーは第一次分として、千葉・福島・神奈川の各県原水協、日本原水協、JMIU労組など8人で、相馬市と南相馬市の仮設住宅を訪問し500本届けました。どこでも話が弾み喜んでカレンダーを受け取ってくれました。「対話の中から」*いわさきちひろさんの絵が大好きです。嬉しい。心が癒やされます。

*東京の人は、私たちのことなど、もう忘れていていると思っただけで、訪ねて来てくれて嬉しいです。

*カレンダーをくれる店もないのでとても助かります。

復旧・復興は進んでいない

「飯館村は地震や津波の被害はたいしたこともなく家も大丈夫なのに、放射能のせいでも帰ることもできない。野菜も米も材木も売れない。30年、50年、村に帰れない。本当に辛くて悲しい」と話す避難者。

南相馬、浪江町、富岡町には震災直後のままで朽ち果てつつの住宅が多数あった。除染作業は今も実施。どこまでも続く「廃棄物」の山・山・山。福島を忘れるな。(笠木隆)

原子力潜水艦 シャルロット 11/24 また、横須賀に入港

11月24日、午前10時29分、ロサンゼルス級攻撃型原子力潜水艦シャルロットが



原潜シャルロット

横須賀基地に入港しました。原潜の入港は今年13回目、原子力艦船の入港は15回目で、通算912回となりました。

県原水協と横須賀市原水協は、入港に抗議し原潜シャルロットはただちに出て行くことを要求する要請文を、11月26日、米海軍横須賀基地当直司令官に手交しました。



カレンダーを届ける梶原さん



飯館村の大野台第6仮設住宅(相馬市)



破壊された住宅はそのまま(富岡町)



白いシャツが小島さん

24日、「生業(なりわい)を返せ、地域を変えせ！」福島原発訴訟原告団4000人の団長をつとめる小島孝団長の話を聞きました。地域を事故前に戻すこと、元に戻るまでの間、精神的苦痛に対する慰謝料を求めてたたかっています。